

## 食生活改善を仲間とともに

食生活改善推進委員養成講座 修了式

**食**から健康を考える食生活改善推進委員の養成講座が、12月7日(金)に役場大会議室で行われました。

濱館町長は「だし活が県内だけでなく、全国から認知されており、食を通じた健康づくりに取り組む皆さんの今後の活躍も大いに期待する」とエールを送りました。

今回、養成講座を修了した古川節子さんは「20時間のコースに不安があったが、仲間や先輩と一緒に楽しく学ぶこと出来た。これからは町民の生活向上に貢献していきたい」と抱負を語りました。



## お年を召しても楽しく生きる

べえこちゃんがクリスマス会開催

**健**康ダンスで生き生きと活躍する「べえこちゃん」がクリスマスイベントを、12月11日(火)に中央公民館で開催しました。

イベントでは三村三千代氏を講師に招き、「百人一首を楽しみましょう」の演題で百人一首の世界を講演し、古典文学の世界を楽しみました。

## 大地の恵に舌鼓

武田小でとうふ作り体験

**武**田小学校の1年生と2年生が、中泊町グリーン・ツーリズムの会「かけはし」を講師に招いて、12月14日(金)に豆腐づくり体験をしました。

豆腐作りで用意した大豆は、5月に児童たちが植えて、11月に収穫したものです。児童たちは、ミキサーにかけた大豆を煮込み、にがりを加えて固める工程を体験し、出来たてを試食しました。濃厚な味わいの豆腐に舌鼓を打ち、何度もおかわりをしていました。

白戸<sup>たすく</sup>佐君は「おいしくできた。また食べたい」と自分で種蒔きから収穫、そして加工した豆腐の出来映えに満足していました。



## 税金の役割や大切さを学ぶ

町内各小学校で租税教室

**将**来の社会を担う小学生に税金の役割を学んでもらう租税教室が、町内の各小学校で実施されました。

12月19日(水)には、薄市小学校で実施され、税金の使い道や役割について太田壘くんは「DVDで税金がない世界を見て、税金があった方がいいと思った」と税金の大切さや使い道を学んでいました。

## 将来の町の姿を探る

若手団体と濱館町長が懇談会

**町**内の若手団体と濱館町長が町の将来の姿を探るべく、12月20日(木)に意見交換をしました。

この日は、若手農業者団体「ばろかだる会」、若手漁業者団体「活ハマクラブ」、若手まちおこし団体「いいなかどまり会」の3団体が集まりました。懇談会では、濱館町長から町の取り組み紹介のほか、若手団体の活動報告や今後の展望を話し合いました。この懇談会の内容は、今後の町づくりの参考に役立てられます。



## トナカイとサンタがパレード!?

富野子供会がサンタパレード実施

**ク**リスマスイブの12月24日(月)の夜、富野地区でサンタパレードが開催されました。

中泊まちづくり活性化協議会の協力で、トナカイに見立てたポニーが電飾を施したソリを引き、サンタが子どもたちへプレゼントを届けました。

プレゼントを受け取った片山<sup>けんし</sup>謙心君は「ビックリしたけれど、町が明るくなったように感じた」と話し、クリスマスの演出に魅了されていたようでした。



## 大好きなぬいぐるみたちがおとまり

図書館でぬいぐるみおとまり会

**ぬ**いぐるみたちが、12月25日(火)に図書館でおとまり会をしました。このイベントは、子どもたちが本を読むきっかけになるように図書館で開催されました。

子どもたちが普段一緒にいるぬいぐるみを、読み聞かせをして図書館で寝かしつけて、一晩の間、お別れします。その間、ぬいぐるみたちが夜の図書館を冒険し、お気に入りの本を見つけ、翌日、お迎えの時にその本を借りて帰ります。

自宅でも子どもがぬいぐるみに読み聞かせをして、本に触れる機会を増やすことを目的に開催され、参加した山崎紋加ちゃんは「家に帰ってからも読み聞かせで寝かせたい」と話し、家に帰って本を読むことが楽しみな様子でした。



## 31年の功労が認められる

成田みさをさんが厚生労働大臣表彰を受賞

**戦**傷病者や戦没者遺族らの援護に長年携わり、積極的に事業に参加し戦争の悲惨さを風化させないため、後世に伝えていこうとする姿勢が評価され、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

12月26日(木)には濱館町長が賞状を手渡し、「おめでとうございます。遺族会の高齢化が進んで大変だと思う。いつまでもお元気に」とエールを送りました。



## 手づくりの門松で新年を迎える

中央公民館で門松づくり体験教室

新年を迎える縁起物である門松の制作体験教室が、12月26日(水)に中央公民館で開催されました。

参加者たちは高さ約70cm、直径約20cmの門松を1時間ほどで作りました。

参加した古川清範さんは「神奈川から来た孫と門松づくりを通じ孫とふれあえて楽しかった」と製作を楽しんでいたようです。



## 全国大会での活躍を誓う

田中君が全国大会出場報告

JFA第24回全日本U-15フットサル選手権大会全国大会の出場報告に田中悠弥君(小泊中)が、濱館町長のもとを訪れました。

田中君は、西北地域のチーム「FCトゥリオオーニ」に所属し、青森県大会と東北大会を優勝し、全国大会出場を決めました。

濱館町長は「1プレー1プレーを大切に、高みを目指してほしい」と話しました。田中君は「体調を万全に、協力プレーで高みを目指したい」と全国大会への抱負を話しました。

## 新年はやっぱり走り始め!?

元旦マラソンが今年も開催

毎年恒例となっている元旦マラソンが今年も開催されました。

濱館町長の冒頭のあいさつでは「猪突猛進で今年も頑張る気持で一緒に走ります」と新年と元旦マラソンへの意気込みを話しました。

約45人の参加者たちはスタートと同時に勢いよく走り出し、体育センターから津軽中里駅の往復約2キロのコースを駆け抜けました。



## 無病息災や五穀豊穡を願う

新春名物のどんと焼きで願いを込める

持ち寄った正月かざりをはじめ、古いお札や破魔矢を燃やし、無病息災や五穀豊穡を願うどんと焼きが、1月12日(土)に宝の森広場特設会場で開催されました。

冷え込み澄んだ空気の中、参加者たちは炎をじっと見つめ、願いを込めました。

## 昔ながらの遊びを楽しむ

下前でゆきんこまつり

下前地区のすくすくしたまえ館で1月6日(日)、ゆきんこまつりが開催され、地元の親子を中心に25人が参加しました。

下前地区の母親クラブのみなさんが主催で、地域の子どもたちと一緒に巨大カルタ、ハンカチ落とし、お手玉、おはじきなど昔ながらの遊びを楽しみました。いっぱい遊んだ後は、おにぎりや豚汁、みかんをおいしくいただきました。最後に、賞品付きドップでお土産をゲットした子ども達は大喜びでした。



## 女性活躍の推進を目指して

新春講演会で男女協働参画を考える

男女共同参画社会を考える新春講演会が1月18日(金)に総合文化センターパルナスで開催されました。講演は、三村三千代氏と、株式会社青森経営研究所の代表取締役社長で県男女共同参画推進協議会会長でもある北村真夕美氏を講師に招きました。

三村さんは「女性が元気になれば地域も元気になる」と話し、古典文学の世界から女性の活躍をわかりやすく紹介しました。北村さんは「わかりやすい男女共同参画」と題して、互いに見つめ合い評価しあえる社会について話しました。



## 旧小泊村の発展への貢献で叙勲

はじめ  
大澤一さんが旭日単光章

旧小泊村の発展に大きく貢献したことから、大澤一さんが旭日単光章を受章し、1月18日(金)に濱館町長から手渡されました。大澤さんは、旧小泊村の村議会議員として高い実行力を活かして、国道339号線通称「竜泊ライン」開通をはじめ、「イガッタラきてけフェア」開催、小説「津軽」の像記念館開館、道の駅こどもり完成など、村の観光振興に取り組みました。また、消防団での活動も評価され、消防団長や分団長を長きにわたって務めました。大澤さんは「こんなに立派な賞を貰えるとは思っていなかった。共に歩んできた仲間にも感謝している」と話しました。



## 魅力ある店舗づくりや商品開発が実を結ぶ

中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会が最優秀賞

県が進める「攻めの農林水産業」の先導的な模範として、中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会に最優秀賞が贈られ、同協議会会長の田中恵津子さんが1月28日(月)に濱館町長を表敬訪問しました。同協議会では、中泊町特産物直売所「ピュア」の店舗づくりや商品開発にも取り組み、来客数や販売額の増加に貢献しました。また、「ピュア」では高齢者の集荷サービスや買い物支援などといった人口減少社会に対応したサービスの提供がされています。

濱館町長は「どんどん先頭に立って頑張っていて欲しい」とさらなる活躍に期待を寄せました。田中さんは「人口減少社会の中、高齢者の生活の核となる直売所づくりを目指していきたい」との決意を濱館町長に伝えていました。

